

長岡地区租税教育推進協議会長賞 優秀

納税の責任

新潟県立長岡高等学校

二年 田岡 美沙来

日頃の生活で私達は様々な税金を払っている。私達の身近なところでいうと消費税である。消費税率は現在8%で10%に切り替わろうとしている。近頃、ニュースを見てみると、増税や納税に批判的な意見や納税をしたくないと思っている人が多すぎると思う。私はその事をとても残念に感じる。税金は今の日本や私達を支えるためにお金であって、本来私達は誇りを持って納税するべきものだからである。

ゴミがそこらじゅうに散らばっていない、警察官が私達を守ってくれるから危険にさらされる不安がない、きちんと整備された道路で登下校ができる、お金がないから病院に行けないということがない。これらの事を当たり前だと思っはいけない。これは日本国民が納税しているから成り立っているのである。テレビなどで環境整備がなっていない国や、悲惨な事件のニュースなどを目にする。また登校に何時間もかかる子どもなどもいる。そういう国の人々は日本の公共サービスの良さにびっくりするだろう。日本の平均寿命が良いのは医療福祉が充実しているのも理由の一つである。

世界有数の災害頻出国である日本は復興の為にたくさん税金が使われている。私は、2007年に中越沖地震を経験した。当時幼かった私は恐怖でいっぱいだった。そんな私を安心させてくれたのは自衛隊の方々だ。不安だった私達に食事の提供など様々なことを行って下さった。また避難所の確保や支援物資により私達の生活や気持ちも安定した。町もがれきに埋もれていたが知らぬ間になくなり、あつという間にいつもの風景に戻っていたという印象しか幼い私には無かったが、改めて調べてみると、自衛隊の派遣や支援、また道路の復旧、がれきの撤去も税金で賄っていたことが分かった。

2つの例から分かるように税金は日常生活にもまた、災害時にも私達を助けてくれる大切なものだ。どうして税金を払うことにマイナスイメージを抱く人が多いのか。それは税金の重要性を浅はかに考えていて、税金が無かったらどのような生活をしているのか想像できていずに、今の生活を当たり前前に思っているからだと思う。そんな人達は一度自分の手で調べ重要性を知り誇りをもって納税するべきだ。私も高校を卒業すると一気に納税の機会が増える。その際には国民の意識を持ち納税をして社会に貢献していく。